

基づいて拡充を図った。

(1) 家庭教育学級

- 関係者の理解を深め、開設の増加を図る。
- 特に、子供の発達段階に応じた学級開設の促進を図る。
- 家庭教育の振興のため、市町村独自の研修会等の開催を促進し、家庭教育の重要性の認識を図るとともに、学級の運営改善等を図る。
- 家庭教育資料を提供し、その効果的な活用を図る。

(2) 乳幼児学級

- 関係者の理解を深め、開設の増加を図る。
- 学級実施中の乳幼児の保育の設備や方法について改善くふうを図る。

(3) 家庭教育(幼児期)相談事業

- 事業の趣旨について対象者のみならず、広く県内全般に周知するようあらゆる機会を活用する。
- テレビ放送「ちいさな世界」については、特に、対象者はもちろん、一般に周知徹底を図るとともに、放送内容の充実を図る。
- 各種学級における放送利用並びに、ハガキ通信文の利用の促進を図る。
- 本事業対象者による「はがき通信」「ちいさな世界」の輪読・視聴グループの育成を図る。

2 家庭教育研究集会

(1) 目的

家庭教育学級・乳幼児学級の開設と運営、学習内容の編成、学習方法について研究協議することにより、家庭教育の振興を図る。

(2) 主催

福島県教育委員会、郡山市教育委員会

(3) 期日・会場・参加者

- ① 期日 昭和51年6月8日
- ② 会場 郡山市 郡山市立中央公民館
- ③ 参加者 350名

(4) 参加対象

- 市町村教育委員会、公民館等の家庭教育担当者
- 小・中学校、幼稚園、保育所等の家庭教育関係者
- 家庭教育学級・乳幼児学級運営委員及び学級生代表等

(5) 講師

郡山女子大学短期大学部助教授 小森 澄 憲

(6) 助言者

県教育庁社会教育課員
" 県中教育事務所社会教育主事
郡山市教育委員会事務局職員

(7) 研究内容及び方法

① 研究主題

家庭教育学級・乳幼児学級を拡充するため、その開設運営、学習内容、学習方法をどのように改善したらよいか。

② 講義

乳幼児期における家庭教育上の諸問題

③ 分科会協議

第1分科会協議題

家庭教育学級の企画運営(学習内容編成を含む)はどうか。

第2分科会協議題

家庭教育学級の効果的な学習方法はどのようにしたらよいか。

第3分科会協議題

乳幼児学級の企画運営(学習内容も含む)はどうか。

第4分科会協議題

乳幼児学級の効果的な学習方法はどのようにしたらよいか。

第5分科会協議題

家庭教育を振興するための行政施策はどのようにしたらよいか。

3 家庭教育(幼児期)相談事業

(1) 趣 旨

幼児教育が人間形成のうえで極めて重要であることから、特に3歳児を第1子に持つ親を対象に家庭教育上の具体的問題を取り上げ、これを解決するために専門家等の協力を得て必要な情報を提供し、また個別的な相談を行い、家庭教育学級並びに乳幼児学級の充実と相まって、本県の家庭教育の振興を図ろうとするものである。

(2) 実施主体

福島県教育委員会

(3) 協力機関

市町村教育委員会

(4) 実施期間

昭和51年5月～昭和52年3月

(5) 対 象

県内の3歳児を第1子に持つ親 14,000名

(6) 事業の内容

- はがき・チラシによる相談指導(年間9回)
- 巡回による相談指導(県内27会場)
- テレビ放送利用による相談指導(年間29回、9月～3月 毎週日曜日午前9時30分～45分、カラー15分間、再放送毎週月曜日午前10時00分～15分)

(7) 家庭教育(幼児期)相談事業各種委員会

ア 企画運営委員会

- 本事業の企画運営を適切に推進するため、企画運営委員会を設置する。
- 企画運営委員会は、年間4回会議を開催し、本事業全般の企画運営並びに、はがき通信、巡回相談に関する方針や要項、テレビ放送による相談指導に関する方針や要項を策定する。

イ 企画運営委員

氏 名	役 職 名
堀 口 知 明	福島大学教育学部教授
工 藤 正 悟	"
庄 司 他人男	福島大学教育学部助教授
菊 池 章 夫	"
大 原 徳 明	福島県立医科大学教授